

最優良賞

「根室地域（^{おちいし}落石地区）マリンビジョン協議会」

～ 漁協施設を活用した地域水産物の販売 ～

【協議会の概要】

「根室地域（落石地区）マリンビジョン協議会」は、漁港周辺の優れた自然環境・景観を活用しつつ、エコツーリズムの推進による国内外からの来訪者との交流やつくり育てる漁業の推進による地域振興を目指しています。

【取組概要と選定理由】

落石地区は、多種多様な水産物が漁獲される地域ですが、近年は海洋環境の変化や資源量の減少等により、漁獲量の変動への対応が大きな課題となっていました。

このため、根室地域（落石地区）マリンビジョン協議会では、地区内に水産加工処理施設を新設し、消費者ニーズを意識した水産物の高付加価値化に積極的に取り組んでいます。

また、航空会社、大手総合物流企業、大手外食チェーンと連携し、根室産サンマを水揚げしたその日に首都圏の飲食店へ提供する「空飛ぶサンマプロジェクト」を実施しました。花咲港落石市場から航空輸送を行うことで、従来は困難とされていた高鮮度のサンマを、迅速かつ安定的に都市部の消費者へ届けることを可能としています。

これらの取り組みは、地域の知名度向上と水産物の販売拡大を継続的に推進する好事例であり、産地自らが都市部へ売り込みを行い、継続的な取引に結び付けている点が高く評価され、最優良賞に選定されました。



新たに整備された水産加工処理施設

「空飛ぶサンマプロジェクト」で
当日に提供されたサンマ

優良賞

「登別・白老^{こじょうはま}（虎杖浜）地域マリンビジョン協議会」

～漁港及び漁港以外での朝市・夕市の開催～

【協議会の概要】

「登別・白老（虎杖浜）地域マリンビジョン協議会」では、登別・白老（虎杖浜）ブランドの水産物を核として徹底した品質・衛生管理の強化を図り、産地基盤を強固にするとともに、地産地消を推進して地場の水産応援団の拡大を図り、食と交流の感動を同時に創出することで観光産業との相乗効果の発現を目指しています。

【取組概要と選定理由】

登別・白老（虎杖浜）地域では、水産物のPRや地産地消の拡大、さらには都市と漁村の交流促進を目的として、水産物の販売を行う朝市・夕市を年に5～8回程度開催しています。令和7年度は、登別漁港および白老港で計5回開催し、地元水産物の魅力発信に取り組みました。

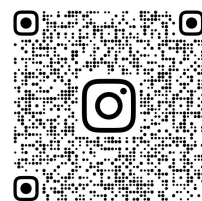
本取り組みは、平成18年から継続的に実施されており、各市町のホームページや新聞折り込みによる周知に加え、インスタグラムを活用した情報発信や関連イベントの拡充などにより、毎回多くの来場者で賑わいを見せています。

令和7年度は、プレゼントキャンペーン付きの来場者カードの配布や、順番待ちの整列方法の見直しなどを行い、来場者の満足度の向上にも積極的に取り組んでいます。

これらの取組は、長年にわたり継続して実施されている点や、地域の実態に即したイベント形式による集客が行われている点が評価され、優良賞に選定されました。



朝市・夕市の開催



@ASAICHI.YUICHI_JF.IBURICHUOU



インスタグラムでキャンペーンを告知

優良賞

「ウトロ地域マリンビジョン協議会」

～サケ・マスの自然産卵環境の保全と拡大～

【協議会の概要】

「ウトロ地域マリンビジョン協議会」は、町の二大産業である漁業と観光業の多様な連携による相乗効果と、ウトロ漁港を中心とする基盤施設等を有効活用した、地域・社会経済の活性化を目指しています。

【取組概要と選定理由】

ウトロ地域では、サケ・カラフトマス資源の長期的な底上げと安定化を図り、自然産卵環境の保全と拡大による遺伝的健全性の確保をするため、サケ・マス自然産卵調査、可搬魚道試験、魚道清掃などを役場、漁協職員、香川高等専門学校の学生等と連携して実施しております。

また、令和6年からは、釣人に釣竿3本、釣る尾数3尾を促す「斜里海浜サケ・マス釣りルール」を本格運用し、美しい海浜を保護し、サケ・マス資源の持続可能な利用に取り組んでいます。近隣市町と合同でルールの制度化や海岸清掃を行うとともに、釣人へルール順守の啓発活動を行い、海浜環境の改善や釣人の満足度向上につながっています。

これらの取り組みは、自然産卵環境の保全を継続する意義は大きく、生産力向上につながる活動として評価され、優良賞に選定されました。



可搬魚道の設置



釣りルールの啓発と清掃活動

斜里海浜 サケ・マス釣りルール

(抜粋)

美しい海浜を保護し、サケ・マス資源の持続可能な利用を目指すため、
来訪される皆様には、このルールの遵守をお願い致します。

| | | |
|---|---|--|
|  <p>釣竿の数は3本まで</p> |  <p>釣る尾数は3尾まで</p> | |
|  <p>ヒグマに 特段の注意を</p> |  <p>リリースは 素早く丁寧に</p> |  <p>場所取り禁止</p> |
|  <p>ゴミ、残滓の 投棄禁止</p> |  <p>砂丘の破壊禁止</p> |  <p>植生への車両乗入や テント設置禁止</p> |
|  <p>ルール詳細は こちら</p> | | |

斜里町産業部水産林務課水産係 TEL.0152-26-8374

禁止とされている行為については、罰則や場外に導く場合があります。管理関係者が行う場合はこの限りではありません。
禁止とされている行為に反した場合は、法令により罰せられることがあります。状況によっては罰則を一時的に免れることも発生する場合があります。

斜里海浜サケ・マス釣りルール

奨励賞

「三石地域マリナビジョン協議会」

～出前授業の継続～

【協議会の概要】

「三石地域マリナビジョン協議会」は、全国的な知名度を誇るミツイシコンブをはじめとした地域の水産物を活用し、漁村地域を支える人材の育成や都市部との交流人口の創出など、人と人とのつながりを大切に事業の展開を目指しています。

【取組概要と選定理由】

三石地域では、資源量の減少に伴う漁業者所得の低下や高齢化の進行により、担い手不足や地場水産物の消費拡大が大きな課題となっています。

このため、三石地域マリナビジョン協議会では、漁業後継者の確保や担い手育成のほか、まちの水産業の現状や地場産食材の魅力を伝える大切な機会として出前授業を行ってきました。これまで継続的に実施してきた出前授業を発展させ、宿泊を伴う大学生向け出前講座を実施することで、漁業への理解促進と関係人口の拡大に取り組んでいます。

また、地元の静内農業高校と連携し、低・未利用魚を活用したレシピを開発し、来年度以降、新ひだか町内の宿泊施設や飲食店等において「静農ブランド&漁港めし」として提供する予定です。

出前授業は、天候不良時の対応など課題もあるものの、長期的な交流人口の増加が期待される取組であり、さらに、レシピ料理の開発・提供は、地場水産物の付加価値向上につながる取組として評価され、奨励賞に選定されました。



出前講座の学習状況



静農ブランド&漁港めし「からっと魚ーテン揚げ」

(からあげ：カスベ塩味 ソイ醤油味、タラ梅しそ味、カジカコチュジャン味)

奨励賞

「根室地域（^{はほまい}歯舞地区）マリンビジョン協議会」

～宿泊施設の確保～

【協議会の概要】

「根室地域（歯舞地区）マリンビジョン協議会」は、歯舞ブランドの確立に向けた多様な取組を推進し、水産業の振興をはじめとする地域経済の発展と活性化を図るとともに、海業を核とした漁村地域づくりを中心テーマとして、地域関係者が一体となり、漁業振興を通じた活気ある漁村地域の形成を目指しています。

【取組概要と選定理由】

根室地域（歯舞地区）では、衛生管理型市場・防災施設・海業支援施設の機能を併せ持つ歯舞漁業協同組合複合施設を活用し、一般観光客、教育旅行の学生、北方領土青少年視察団、都府県議会等の視察団体を受け入れています。来訪者に対しては、施設案内に加え、北方領土学習や貝殻昆布の歴史などコンブ漁業に関する説明を行っています。

一方、根室内市では宿泊施設が不足しており、来訪者の多くが通過型観光にとどまっていることから、宿泊機能の確保による滞在型観光への転換が課題となっています。

このため、根室地域（歯舞地区）マリンビジョン協議会では、滞在型観光の推進に向け、先進事例の視察や地域に適した導入手法の検討を進めています。

本事業は令和7年度から開始され、宿泊規模や運営体制の検討、大学生を対象とした試験的・段階的な展開など、通過型観光から滞在型観光への移行に向けた取組を実施しています。

こうした課題は多くの地域が抱えていることから、本取組は汎用性の高い好事例として評価され、奨励賞に選定されました。



宿泊施設の先進事例

（魚津漁業協同組合経営の「渚泊魚津丸」）



先進事例の視察状況